

17-98

2017年10月4日

「銀座線リニューアル計画」が  GOOD DESIGN AWARD 2017
2017年度グッドデザイン賞を受賞しました！
 東京メトロでは有楽町・副都心線10000系車両に続いて2度目の受賞

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：山村 明義）は、「銀座線リニューアル計画」が、2017年10月4日に公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2017年度グッドデザイン賞〈移動用機器・設備〉」を受賞したことをお知らせします。

今回の受賞では、銀座線リニューアル計画において、①銀座線開業当時の車体の色や鉄骨が残る駅などの遺産を継承しつつ、ホーム拡幅やホームドア設置を進めることで機能性・安全性も高めている点、②洗練されたコーディネートと落ち着いた雰囲気の中で日本の地下鉄の伝統を体感できる点が高く評価されました。

なお、グッドデザイン賞の受賞は2007年度の有楽町線・副都心線10000系車両に続いて東京メトロでは2度目の受賞となります。

東京メトロでは、東洋初の地下鉄として東京の街をつないできた伝統に、最先端の技術を取り入れることで、地下鉄をより快適にご利用いただけるよう努めていきます。

「銀座線リニューアル計画」の概要は、別紙のとおりです。



日本最古の地下鉄
銀座線
リニューアル計画
「伝統×先端の融合」

1927年（昭和2年）12月に開業した「銀座線」。今年90周年を迎えます。90周年を迎えるにあたり、単なる「老朽化した駅の改修」・「更新費用を抑えた車両の更新」ではなく、銀座線全体を1つのデザインとして、「伝統と先端の融合」のコンセプトを掲げ、100周年にあふく乗客が持つ「銀座線」の魅力を最大限に引き出すリニューアル計画を実施しております。事業については、伝統的な目録1000冊のイメージを継承しつつも、最先端の技術を取り入れることで安全性や快適性を向上させている1000冊を導入しました。また約1000冊のイメージを更に発展した特別仕様車も2017年から運行されています。駅については、銀座線19個のうち3つのエリアに分け、それぞれにデザインコンセプトを構築し、各エリア、各駅にデザインコンセプトを定め、各駅周辺に展開し、銀座線全体の魅力を醸成しつつ、「日本の地下鉄」へと進化させることを目指しています。リニューアルを実施しています。推進にあたっては、有識者会議を設け、社内に「銀座線リニューアル推進委員会」を設置し、お客様の体験価値向上を図り、銀座線のブランド力を高めることを目的として、一貫性を持った展開が、各駅にわたって実施されていきます。

ホームドアの設置 名称の改称 駅名標の導入 バリアフリー設備の整備




「銀座線リニューアル計画」概要

1 概要

東洋初の地下鉄として東京の街をつないできた歴史を大切にしながら、先端の機能やサービスを取り入れ発信する路線として、【伝統×先端の融合】を路線コンセプトとし、銀座線全線のリニューアルを実施しています。

2 主な取組み

(1) ホームドアの設置

2018年9月末までに銀座線全線設置完了予定

※大規模改良駅は除く



浅草駅ホーム

(2) エリア毎の全駅改装



神田駅 ホームイメージ



上野駅 改札口イメージ



浅草駅 出入口イメージ

(3) 新型車両の導入

2012年 銀座線 1000系運行開始

2017年 銀座線 1000系特別仕様車運行開始



1000系外観



1000系特別仕様車外観



1000系特別仕様車内観